

# 三国街道と宿場

▲三国峠 御阪三社神社より越後側をのぞむ

## 記念事業

参加費無料、要予約5月22日(土)より受付  
申し込み先着順

### ▶三国街道の史跡めぐり(定員30名、小雨決行)◀

「小鳥・大八木地区編」6月12日(土) 9:30~12:00

講師：高崎市北部公民館長 中嶋 宏氏

「金古宿編」

6月19日(土) 9:30~12:00

講師：かみつけの里博物館次長 志村 隆氏

### ▶講演会(定員50名)◀

「上杉謙信と和田城の攻防」7月 4日(日) 10:00~12:00

講師：高崎市史編纂専門委員 久保田順一氏

「三国街道～人と物の往来」7月11日(日) 10:00~12:00

講師：群馬県立文書館長補佐 岡田 昭二氏

▶後援：上毛新聞社・高崎市民新聞社・ラジオ高崎

平成22年

## 6月8日(火)

休館日：月曜日

## 7月19日(祝)

**入館無料 9時~16時**

### 高崎市歴史民俗資料館

〒370-0027 群馬県高崎市上滝町1058

Tel/Fax:027-352-1261

# 三国街道と宿場

高崎宿・金古宿

高崎は中世以前には鎌倉街道が通る「和田宿」が栄えました。近世に入ると中山道を中心に諸街道と結ばれ、倉賀野河岸の水運も合わせて高崎城下や金古宿は人と物で賑わいました。中でも三国街道は、高崎を起点として金古宿から渋川宿へと北上し、三国峠を越えて越後国や日本海に抜ける重要な路線でした。市歴史民俗資料館では高崎と街道シリーズ第一弾「中山道と宿場」に続いて、企画展「三国街道と宿場」を開催します。特に今回は中世・近世・幕末の三つの時間に分け、それぞれの時代における高崎と三国街道との関わりを紹介します。市民の皆様には郷土への理解を一層深めて頂く機会となれば幸いです。



金古宿「諸業高名録」(みやま文庫より)

## 一 上杉謙信がやってきた

越後の戦国大名の上杉謙信は、数度にわたって三国峠や清水峠を越えて関東へ侵攻した事はよく知られていますが、その際に交通の要衝にあった和田城（高崎市）をめくって、武田信玄と攻防を繰り返しています。当時の情勢をわかりやすく紹介します。

## 二 大名行列も通った道

江戸時代になると越後など北陸方面へ向かう道として、高崎を起点とした三国街道が整備されます。高崎城下と金古宿、大名・武士・商人や出稼ぎの農民の旅を紹介します。

## 三 幕末の動乱 三国戦争

戊辰戦争において高崎藩と吉井藩は朝廷側に恭順の意を示しました。その証に東山道総督府の命令で、高崎藩と吉井藩は前橋藩など上州諸藩とともに三国峠で会津藩と戦う三国戦争に参加しています。当時の状況を紹介しします。



高崎宿「諸業高名録」(みやま文庫より)

## 高崎市歴史民俗資料館

〒370-0027 群馬県高崎市上滝町1058番地

TEL/FAX 027-352-1261

E-mail: rekimin@takasaki.gunma.jp

URL: <http://www.city.takasaki.gunma.jp/sosiki/rekimin/>

### 【交通案内】



ＪＲ高崎駅西口（群馬中央バス）  
県立女子大学行き約30分 慈眼寺裏下車徒歩3分  
ＪＲ高崎駅東口（群馬バス）  
亀里町ＪＡビル行き約20分 下滝西下車徒歩8分  
ＪＲ高崎駅東口（ぐるりん）  
滝川郵便局下車徒歩15分



関越自動車道（高崎IC）5分



協力／あかりの資料館・みやま文庫 群馬県立文書館 高崎市民城南公民館・高崎市北部公民館・高崎市六郷長寿センター！高崎市吉井郷土資料館・かみつけの里博物館・愛宕神社（南町）東善寺・慈願寺・興禅寺・徳昌寺（下之城町）・常仙寺（金古町）・高崎市中心地区鎌倉街道武者行列実行委員会・箕輪城まつり実行委員会・関東官領平井城址保存会・近藤義雄・村上泰資・普如寺・三芳太三・今成清・酒井敏・内田晴夫・矢島正志・藤井茂樹・関恒雄順不同敬称略